

☆「のぶすま」は、高尾山頂にある高尾ビジターセンターにて配布しております。☆ご希望の方はビジターセンター窓口までお越しください。

## イベント情報

『自然講座 英語で高尾山を案内しよう』  
 自然解説員と一緒に外国人に高尾山の自然を紹介する手法を学びます。講師は英語で自然体験プログラムを行っている、デービット パドックさんです  
 実施日時：平成19年5月13・27日(日) 10:00~16:00  
 対象：高校生以上(両日参加できる方)  
 定員：20人(応募者多数の場合は抽選)  
 参加費：580円(保険代・アンケート郵送料として)

『自然講座 野鳥観察、初めの一步!』  
 初心者向けに、観察のコツや、野鳥の生態など盛り沢山の内容。講師は日本野鳥の会東京支部会員吉邨隆資(よしむらたかし)さんです。  
 実施日時：平成19年5月26日(土) 7:30~15:30  
 対象：高校生以上  
 定員：30人(応募者多数の場合は抽選)  
 参加費：370円(保険代・アンケート郵送料として)  
 ※内容は若干変更になる場合があります。

◆イベント詳細・申込み方法◆  
 ビジターセンターのホームページからご覧いただけます。  
<http://www2.ocn.ne.jp/~takao-vc/>



## イベント報告 自然教室 平成19年1月20・27日(土) 『地図を読もう①地図編②コンパス編』



コンパスが指した方向の山を確認する

今年で3年目の人気の行事です。応募者は84人と非常に多く、落選した方で希望者には13:00からのガイドウォークで「山座同定」を行いました。今回は事前にアンケートやテストをし、その結果を元に2人ペアになり実施しました。実習中はお互いに助けあう姿が見られ、終わる頃には、すっかり仲良くなっていました。来年は1日のみの予定ですが、内容はより濃く充実させていきます。乞うご期待!

研究路クイズの答え: オオルリ  
 それぞれの答え: ①オトシブミ②イカル③マタタビ④ヒカゲサワ⑤ミスジチョウ

## たたら 解説員のひとりごと 野鳥への餌付け

最近、野鳥へ餌をあたえるハイカーがとても多く問題になっています。人に慣れやすいヤマガラのほか、カケスやリスまでが人の手から餌をもらうような状況になっています。

山歩きをしていて、きれいな鳴き声を耳にすると、声を頼りに「どこかなあ」と辺りを見回し、やっと鳥を見つけたときの感激はひとしおです。油断して大きな動きをとったりすると、鳥はすぐ遠くへ飛んで行ってしまいますが、やはりそれが自然です。

餌付けをすることで、野鳥と身近にふれあえて楽しいのは分かりますが、それを見ただけのハイカーからは、疑問の声も出ています。

野生動物に餌をあたえることは、自分で餌を探し出す能力や天敵から逃げる能力を奪うことにもなりかねません。自然公園では、自然そのものの姿を楽しんで欲しいものです。



ヤマガラを野鳥にもどそう

## 季節展示のお知らせ

春 季節展示 ー地下1階ー 「花と昆虫(仮)」

次号予告 季刊「のぶすま」2007夏号 Vol.11  
 2007年7月1日発行予定  
 野鳥のお宅拝見! トピックスー  
 蛇滝コース自然情報マップ  
 蛇滝コースクイズ②  
 高尾山今昔その②

### 編集後記

絵を描いてみると、いつも漠然ともものを見ていることがよく分かります。もっと観察眼を養いたいものです。T.F 私は四季の中で春が好きです。ぽかぽか陽気に心地よい風、小鳥のコーラスに包まれる、心躍るこの季節がやってきました。(嬉)K.H  
 今号より紙面を一部リニューアルしました。感想をお聞かせいただくと、とてもうれしいです。C.A

季刊 高尾ビジターセンターニュースレター「のぶすま」  
 2007年春号 Vol.10 2007年4月1日発行

発行者  
 東京都高尾ビジターセンター 自然解説員  
 〒193-0844 東京都八王子市高尾町2176  
 電話 042-664-7872 FAX 042-662-9926  
 ホームページ <http://www2.ocn.ne.jp/~takao-vc/>

購読の方法  
 80円切手と、封筒(※宛先に送付先の郵便番号・住所・氏名を必ず記載してください。)を送付希望分同封し、上記ビジターセンターまでご郵送下さい。

## 昆虫たちの冬越し

冬から春へ...

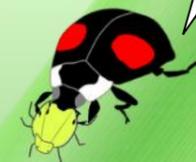
昆虫たちにとって、冬をのりこえることは、とても大変です。春をむかえ、いよいよ躍動の季節です!

体長は約8mm。集団で冬越しします。



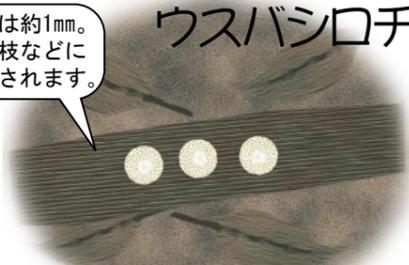
ナミテントウ テントウムシのなかま

成虫はアブラムシを食べ生活します。



木や石の物かげなどに集まって冬越しをします。成虫の背中模様には、いろいろな型があります。見くらべてみると面白いかもしれません。

直径は約1mm。枯れ枝などに産卵されます。



ウスバシロチョウ アゲハチョウのなかま



モンシロチョウよりやや大きく、白い花を好みます。

卵で冬越しします。成虫は、明るい草地をフワフワと飛びます。春にしか見られないので、スプリングエフェメラル(春の妖精)とも呼ばれます。

体長は約27mm。自分の姿を枯れ葉に似せて身を守ります。



ミスジチョウ ヲテハチョウのなかま

モンシロチョウよりやや大きく、滑るように空を飛びます。



幼虫で冬を越し、枝に糸でくっつけた葉の上で過ごします。枯れ葉の上では目立ちにくい姿をしています。成虫は、3本の白いすじ模様をしているので、「ミスジチョウ」と呼ばれています。 担当: 

## ちょこっと 登山情報

	日の出時刻	日没時刻	平均気温
4月1日	5:29	18:02	13.0℃
4月15日	5:09	18:14	
5月1日	4:50	18:27	17.7℃
5月15日	4:36	18:39	
6月1日	4:27	18:51	21.1℃
6月15日	4:24	18:59	

スズメバチ、アシナガバチ、ヘビが活動を始める季節です。こうした生き物に手を出さないように注意しましょう。餡の香料や、香水の香り、黒や紺色の服等は、どれもスズメバチを刺激する要因なので、登山前に出来る予防策をとって登山を楽しんでください。

※記載した日の出・日没時刻は東京での時刻に、平均気温は八王子市の気温になります。高尾山頂での気温はこの平均気温より3℃ほど低くなります。

季刊 高尾ビジターセンターニュースレター



# のぶすま

2007年春号 Vol.10

「のぶすま」とは、ムササビの古い呼び名です。高尾山に住む人気者のムササビにあやかって「のぶすま」とつけました。

高尾山 其の壱  
4コマ漫画

オトシブミの陰謀

作：やぎした 画：ぼん



4・5・6月の ビジターセンター発

日影沢自然情報

のんびりと散歩したいアツタにおすすめ! 沢沿いを歩く山道の中、かわいい植物がひっそりと咲き、BGMには野鳥の声が聞けるスペシャルな場所です。

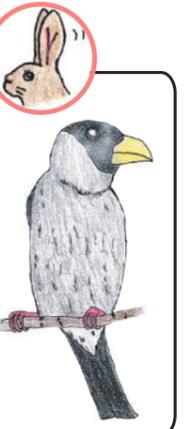
春の鳥情報

キビタキ クロツグミ シジユウカラ ヤマガラ サンコウチョウ ツツドリ



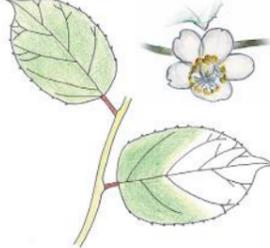
なんて聞こえる?

口笛のように透き通った声で、「キコ キーコー ケキー」と聞こえたらそれはイカルです。野鳥の声を意味のある言葉に置き換える「聞きなし」は、「お菊二十四」「みの笠ほしい」などです。あなたにはどのように聞こえますか?



オシャレさん

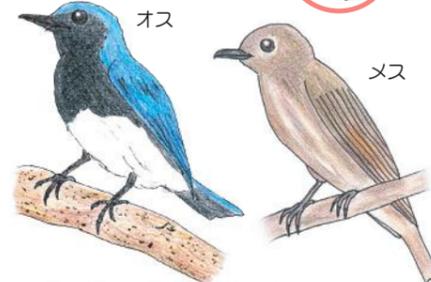
誰だってオシャレをしたいもの。マタタビの葉は、花が咲く頃に純白のファンデーションでお化粧を、白い花は甘い香水を身にまとっています。



見頃:5月下旬~6月中旬頃

同じ鳥?

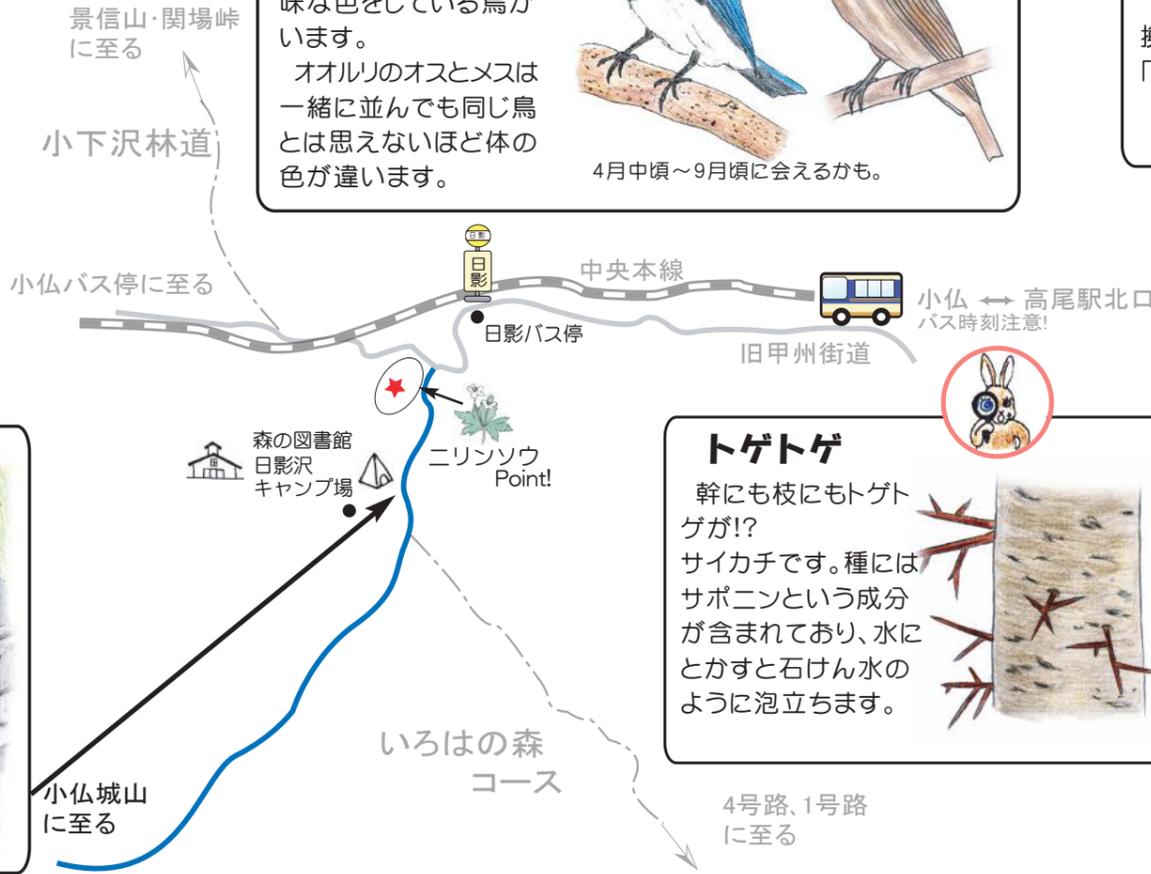
小鳥の中には、オスが派手な色で、メスが地味な色をしている鳥がいます。オオルリのオスとメスは一緒に並んでも同じ鳥とは思えないほど体の色が違います。



4月中旬~9月頃に会えるかも。

水

日影沢を流れている水は、山頂のトイレや飲料水として使われています。もちろん野生の生き物にとっても貴重な水です。



森の中にロールキャベツ?

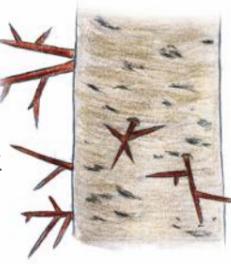
オトシブミのなかまが葉に切れ込みを入れ、丸めて作ったものです。中には卵が! 葉は卵を敵から守り、赤ちゃんのエサにもなるスグレモノ!



見頃:4月下旬~5月中旬頃

トゲトゲ

幹にも枝にもトゲトゲが!? サイカチです。種にはサポニンという成分が含まれており、水にとかすと石けん水のように泡立ちます。

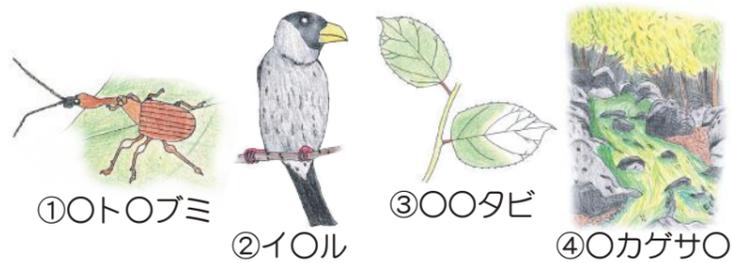
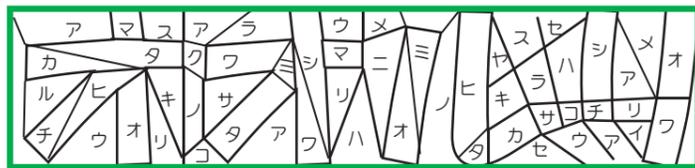


4号路、1号路に至る

研究路 リーズ 日影沢コース編(新連載)

イラストを参考に①~⑤の○にあてはまるカタカナを答えてね。

右図で、クイズで答えたカタカナと一致する枠内をぬりつぶすと...。春に日影沢で見られる鳥の名前が出てきます。



- ①トオブミ
- ②イオル
- ③〇〇タビ
- ④カゲサ〇



⑤〇スジ〇ヨウ

担当: あらつ

高尾山 今昔(新連載)

石碑

『富士までに およぶ雲海ひらけつつ 大見晴らしの 朝鳥のこゑ』この歌は、山頂にある石碑に刻まれています。「日本野鳥の会」の創設者中西悟堂氏が詠んだものです。

この歌は、昭和46年「野鳥の声をきく会」で薬王院に泊り、翌早朝山頂から見た雲海を詠んだものだそうです。前夜までの雨もあがり、山頂からは富士山までつづく雲海が見えたそうです。のちにこの歌碑が山頂に建つこととなります。

中西氏は「野の鳥は野で」ということをとても大事にされ、また文学者としても大きな業績を残した方です。

春は野鳥の声もにぎやかになります。野鳥の声に耳を傾けながら、春の高尾山ののんびり歩くのもおすすめです♪これを機会に石碑もぜひ訪れてみてください。



山頂の石碑。詳しい場所はビジターセンターへ

担当: あなだ